



—— 認証取得おめでとうございます。審査について、そして取得決定後についてお聞かせください。

石川 JCIは医療施設の国際的認証機関です。JCIのミッションは「患者安全と医療の質向上を継続的に促進する組織の醸成」で、これは当院のホスピタルミッションの一つである「医療の質と安全とサービスでトップレベルの病院」と全く同じです。JCIを目指すことはホスピタルミッションを実践することでした。審

査項目は一四領域一二〇〇項目に及び、非常に厳しい基準を設けています。特に、「国際患者安全目標」として位置付けられている六項目（患者の正確な識別、感染リスクの軽減、転倒・転落リスクの軽減など）は、全職員が徹底して基準をクリアしなければなりません。さらに、三年毎の更新があり、更新時には前回よりも厳しい審査を受けることになるため、常に改善が求められています。今回の認証取得に当たっては、約二年間の

# 名古屋第二赤十字病院 石川 清前院長インタビュー

## 東海三県初のJCI認証を取得し 地域の医療レベル向上を目指す 名古屋第二赤十字病院

名古屋第二赤十字病院（名古屋市昭和区）がこの三月「JCI認証」を取得した。同認証を取得しているのは、同病院を含めて国内ではわずか二五施設、東海三県では初めて。非常に厳しい審査項目をクリアするためにどんな努力を院内で行ってきたのか、中心となって取り組んだ石川清前院長に話を聞いた。

石川氏は三月末日に退任。後任は佐藤公治氏。（三月二十三日取材）。

準備をしてきました。本審査に先立って半年前に模擬審査を受審しました。模擬審査、本審査とも外国人審査員四名と通訳八名で行われました。初日の幹部のリーダーシップインタビューに始まり、五日間にわたって院内をくまなく厳しい審査を受けました。その中でも当院の先駆的な取り組みである災害対応や生命倫理の領域では非常に高い評価を受けました。認証取得決定後には、職員に向けて取り組んできた二年間を総括した報

告会を行い、認証取得によって当院が世界基準をクリアしたワンランク上の病院として認められたことで、職員の大きな誇りに繋がったことを喜び合いました。

—— 認証取得のために最も力を入られたこと、病院にプラスになったことはどんなことでしょうか？

石川 認証取得のためには、審査項目についてポリシーを明文化し、それを全職員が現場で実践しなければなりません。この周知徹底のような課題に直面しようとも職員の高いアカウンタビリティがあれば、必ず乗り越えられるものと確信をしています。

—— このほかの名古屋第二赤十字病院の特徴、病院の今後についてお聞かせください。

石川 当院ではいま、創立一〇〇周年記念事業である「日赤愛知災害医療センター棟」の建築が進んでいます。いつ発生するか分からない南海トラフ地震に対して名古屋市東部の災害医療の拠点となる本事業は地域からも大きな期待が寄せられています。また、二年前に開設した性暴力救済センター「日赤なごや（なごみ）」の活動も本格的に軌道に乗っています。これらの取り組みが当院の新たな歴史と伝統となるものと期待しています。

次のリーダーの皆さんには、当院の歴史と伝統を守りつつ、さらにそれを発展させ、赤十字病院として担うべき役割を果たしながら、高度急性期・急性期医療を行う地域から期待される病院創りに頑張っていたきたいと思います。

石川 現時点では、藤田保健衛生大学病院と名大病院がJCI認証取得を目指しています。この地域で三つの大病院がJCI認証を取得すれば、間違いなくこの地域の医療のレベルはJCIの基準がスタンダードになると思います。この地域全体の医療の質向上と患者安全について、他の病院への啓蒙活動を通して、当院がそのリーダーシップを発揮できればと思っています。

—— 三月末日で院長退任となられますが、在任中に特に力を入れたことはありますか？

石川 当院の歴史と伝統である救急医療、高度医療、赤十字の使命としての災害救護、国際救援に力を入れてきました。また職員満足度向上と働きがい・やりがいのある病院創りにも注力してきました。その中でも一番の取り組みは、二〇一四年の創立一〇〇周年に向けて最高の病院（職員満足度と患者満足度の両方が高い病院）になるという一大目標を掲げ、その手段として全病的なコーチングを導入したことでした。コーチ

底が一番大変でした。一八〇〇名の全職員が一丸となって取り組む必要がありました。しかも三年毎の更新に向け常に改善するという高いモチベーションも必要となりました。ポリシーの内容を全職員に徹底するため、頻回に会議を開催しました。多忙な日常業務の上に、新たにこうした取り組みを職員に課すことで、当初は否定的な職員も少なからずいました。しかし、JCIのミッションが理解されていくにつれ、「良くなるよう、乗り越えよう」と、次第に職員の意識が変わっていきました。JCI認証取得という一つの目標に向かって全職員が一つになれたことは、非常に良かったと思います。今回の取り組みで、各部署間の繋がりがより強固なものとなり、チーム医療にもより一層取り組みやすくなりました。また、職員一人ひとりが「患者安全と医療の質向上」を自ら考え行動する習慣として根付いてきたことも大きなプラスでした。

—— 今回のJCI認証取得が周囲に及ぼした影響はありますか？